

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2013年第23週
(6月3日～6月9日)

- * 2013年6月12日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は感染症豆知識「最近の結核」も記載しています。

平成25(2013)年6月13日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2013年23週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		20週	21週	22週	23週	年累計	23週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	74	65	74	95	1,647	394	10,740
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							1
	細菌性赤痢	1		2	1	14	5	57
	腸管出血性大腸菌感染症	1	3	9	5	42	58	428
	腸チフス					13		27
	パラチフス		4		1	14	1	31
四類	E型肝炎			1		18	2	57
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎	1				11	3	70
	エキノコックス症							7
	黄熱							
	オウム病					2		6
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱		1			2		2
	狂犬病							
	コクシジオイデス症		1			3		3
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						1	17
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱					2		6
	つつが虫病						6	78
	デング熱	4				18	3	71
	東部ウマ脳炎							
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱						5	22	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		20週	21週	22週	23週	年累計	23週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							1
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア	1				5		17
	野兔病							
	ライム病							1
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽					1		2
	レジオネラ症	2	1	1	1	25	7	292
	レプトスピラ症							4
ロッキー山紅斑熱								
2013/6/12集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 95件 肺結核 38件、その他の結核 13件、肺結核及びその他の結核 2件、無症状病原体保有者 38件、疑似症 4件、年齢は5歳未満 1件、10代 4件、20代 12件、30代 9件、40代 11件、50代 14件、60代 11件、70代 13件、80代 17件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 92件、ベトナム 1件、モルディブ 1件、中国 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、年齢は30代、菌種はソンネ、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 5件 患者 4件、無症状病原体保有者 1件、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 2件、O157 VT2 2件、O26 VT1 1件、年齢は10代 2件、20代 1件、60代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は経口感染 3件、その他(不明) 2件であった。今週のO157 VT2 の2事例は、第20週の1事例、第21週の3事例とともに同じ飲食店での喫食を認めた。

パラチフス 1件 患者、年齢は20代、推定感染地域はタイ又はカンボジア、推定感染経路はその他(不明)であった。

〈四類感染症〉

レジオネラ症 1件 肺炎型、年齢は30代、推定感染地は国内、推定感染経路は水系感染(公衆浴場疑い)であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2013年23週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		20週	21週	22週	23週	年累計	23週	年累計
五類 (全数届出)	アメーバ赤痢	6	2	3	6	90	21	438
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)	2	3	3		33	1	112
	急性脳炎 *1	1		2	1	24	3	186
	クリプトスポリジウム症					1		1
	クロイツフェルト・ヤコブ病				1	6	3	77
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2		2		16	1	97
	後天性免疫不全症候群	10	9	14	19	207	23	649
	ジアルジア症			1	1	11	1	31
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2				1	5	5	31
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2			1		4		9
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	6	6	2	5	37	20	348
	髄膜炎菌性髄膜炎 *3							2
	先天性風しん症候群				1	2	1	6
	梅毒	13	13	9	3	173	16	467
	破傷風					3	1	46
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					5	1	29
	風しん	159	156	123	111	2,577	517	10,102
	麻しん			1	1	44	4	142
2013/6/12集計								

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

*3 2013年4月1日より指定が解除された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 6件 腸管 5件、腸管外 1件、年齢は30代 1件、40代 3件、50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、国内又はタイ 1件、インド 1件、ベトナム又は中国 1件、国内又は渡航先不明 1件、推定感染経路は経口感染 2件、異性間性的接触 1件、同性間性的接触 2件、その他(不明) 1件であった。

急性脳炎 1件 病原体は不明、年齢は20代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 古典型CJD、年齢は50代であった。

後天性免疫不全症候群 19件 AIDS 3件、無症候キャリア 14件、その他 2件、AIDS患者の年齢は30代 1件、60代 1件、70代 1件、無症候キャリア及びその他の年齢は20代 5件、30代 5件、40代 3件、50代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 15件、オランダ 1件、ベトナム 1件、米国 1件、その他(不明) 1件、推定感染経路は性的接触 18件(同性間 14件、異性間 4件)、不明 1件であった。

ジアルジア症 1件 年齢は50代、推定感染地はインド、推定感染経路はその他(不明)であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は未実施、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 5件 血清型は未実施 5件、年齢は5歳未満 1件、60代 1件、70代 2件、90歳以上 1件、推定感染地は国内 5件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 3件、その他(不明) 2件、肺炎球菌ワクチン接種歴は1回から4回まで接種済み 1件、接種なし 3件、不明 1件であった。

先天性風しん症候群 1件 CRS典型例、推定感染地は国内、母親の妊娠中の風しん罹患歴は不明、母親の風しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

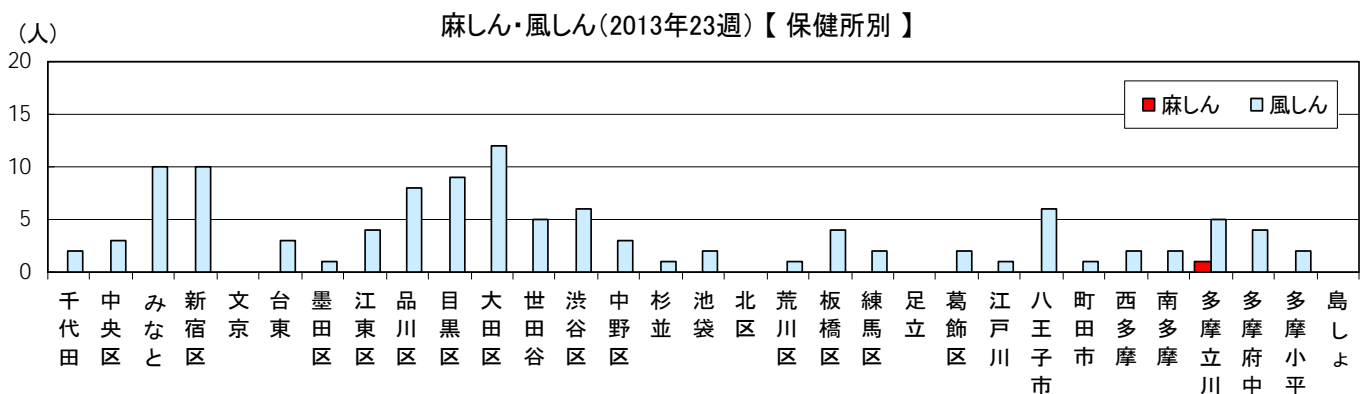
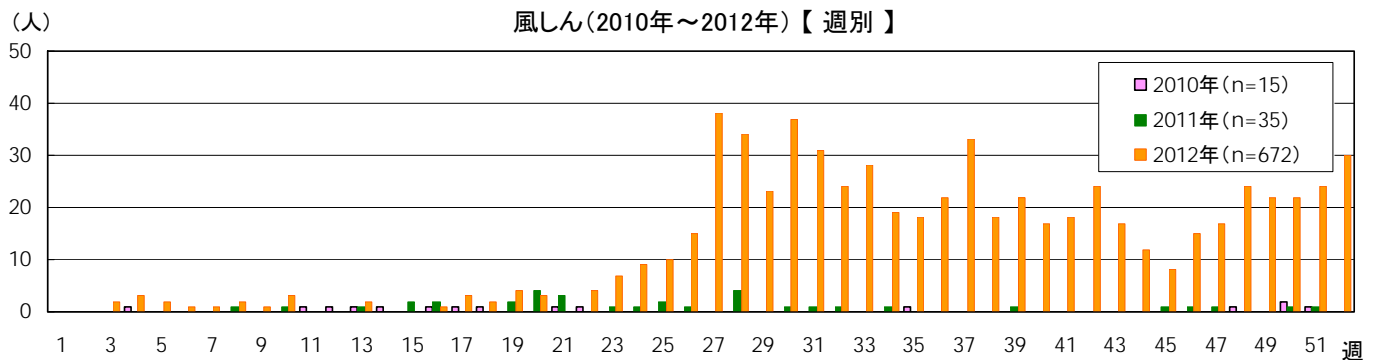
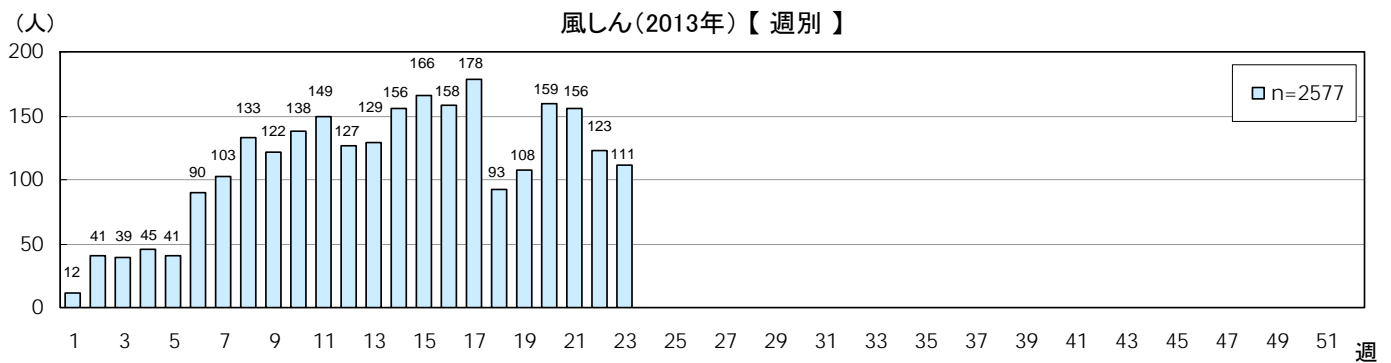
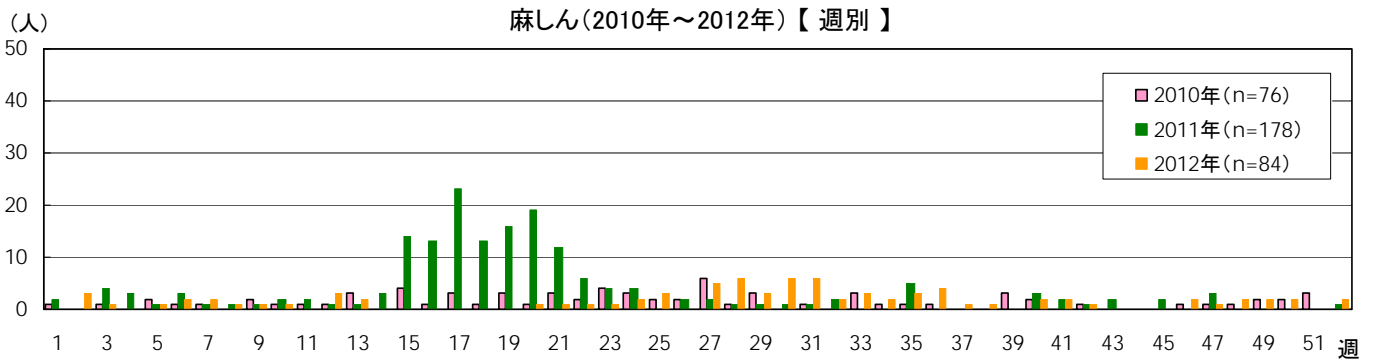
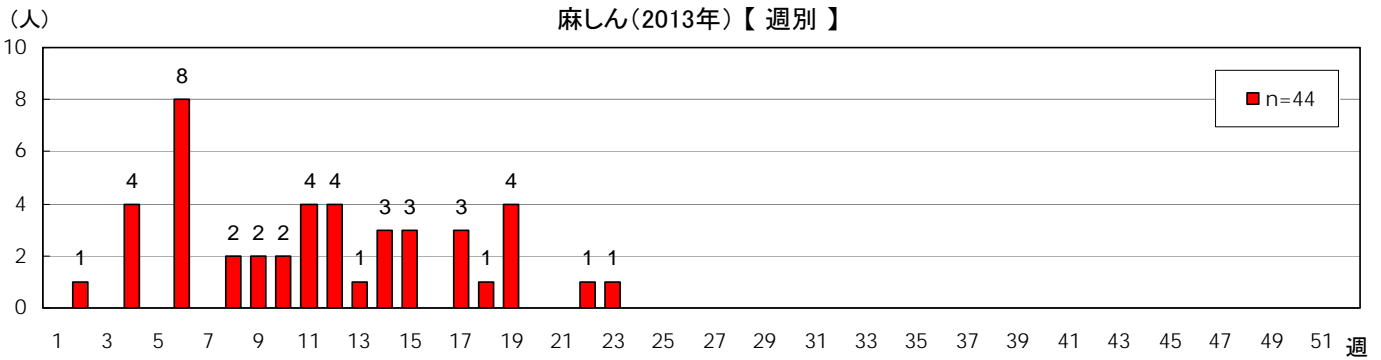
梅毒 3件 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 2件、年齢は20代 1件、30代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は性的接触 3件(両性間 1件、異性間 1件、性別不明 1件)であった。

風しん 111件 検査診断例 71件、臨床診断例 40件、年齢は5～9歳 1件、10代 8件、20代 27件、30代 36件、40代 28件、50代 8件、60代 3件、推定感染地は国内 110件、インド 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 33件、接触感染 12件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染又はその他 1件、飛沫・飛沫核感染又は接触感染 1件、その他(不明) 64件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 5件、2回接種 2件、接種なし 39件、不明 65件であった。

麻しん 1件 臨床診断例、年齢は50代、推定感染地は国内、推定感染経路はその他(不明)、麻しん含有ワクチン接種歴は不明であった。

※ 第19週該当分として〔五類〕麻しん 1件、第21週該当分として〔五類〕ウイルス性肝炎 1件、第22週該当分として〔五類〕風しん 3件の追加報告があった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2013年23週

定点種別	対象疾患	2013年					報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		20週	21週	22週	23週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	17	37	23	22	0.08	262	264
	咽頭結膜熱	146	203	226	209	0.80		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	852	767	741	730	2.79		
	感染性胃腸炎	2,134	1,906	1,820	1,654	6.31		
	水痘	247	342	304	330	1.26		
	手足口病	86	118	123	168	0.64		
	伝染性紅斑	40	55	39	40	0.15		
	突発性発しん	180	214	248	196	0.75		
	百日咳	2			5	0.02		
	ヘルパンギーナ	33	35	30	69	0.26		
	流行性耳下腺炎	57	61	65	56	0.21		
	川崎病(注1)	6	7	5	2	0.01		
	不明発しん症(注1)	23	26	23	26	0.10		
インフルエンザ	インフルエンザ(注2)	308	201	148	75	0.18	415	419
眼科	急性出血性結膜炎	2		1			38	39
	流行性角結膜炎	20	31	19	16	0.42		
基幹	細菌性髄膜炎(注3)		2				25	25
	無菌性髄膜炎	4	4		1	0.04		
	マイコプラズマ肺炎	6	10	7	15	0.60		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	2					
	インフルエンザ入院(注4)	2	1	1				

2013/6/12集計

- (注1) 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 (注2) 鳥インフルエンザを除く。
 (注3) インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
 (注4) 2011年36週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少したが、過去5年平均と比較して高い値で推移している。
- ・ 手足口病の定点当たり報告数は5週連続で増加した。
- ・ ヘルパンギーナの定点当たり報告数は増加した。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

世田谷区

- ・ 咽頭結膜熱は0名だが、アデノウイルス扁桃炎(検査で陽性)は5名。
- ・ ヒトメタニューモウイルス 2名(10か月児、1歳児)、ロタウイルス 1名(4歳児)。
- ・ 溶連菌感染症と水痘が急増。

豊島区

- ・ ヒトメタニューモウイルス 6名。

荒川区

- ・ 感染性胃腸炎は、ロタウイルス、アデノウイルス、病原性大腸菌腸菌O18、O86a、サルモネラ 各1名。アデノウイルス咽頭炎 6名。ヒトメタニューモウイルス 3名。

荒川区

- ・ 病原性大腸菌O18、O25 各1名。

板橋区

- ・ カンピロバクター陽性 1名。

葛飾区

- ・ 深い咳の者が多い。
- ・ マイコプラズマ肺炎 姉妹(1歳児、3歳児)、ロタウイルス下痢症(5か月児)。
- ・ アデノウイルス扁桃炎 1名(7歳児)。

八王子市

- ・ アデノウイルス胃腸炎(9か月児)。
- ・ アデノウイルス(3歳児)。
- ・ アデノウイルス胃腸炎(4歳児)。

多摩小平

- ・ ロタウイルス 4名、アデノウイルス 6名。
- ・ ロタウイルス腸炎 1名、病原性大腸菌 22名、アデノウイルス腸炎 5名、ヒトメタニューモウイルス 4名。
- ・ 手足口病は兄妹で学校でも流行しているとのこと。感染性胃腸炎は多いです。

※「定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント」は15ページに記載しました。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2013年23週

定点種別	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜炎	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	2	1		15	2	1		2		2	
～1歳	6	16	4	139	16	13	4	66		10	
1歳	8	63	18	207	34	66	6	113		22	2
2歳	3	27	27	157	50	33	2	10		10	4
3歳	3	24	82	153	64	26	4	3		5	7
4歳		20	123	173	54	10	3	1		8	11
5歳		21	96	119	46	6	5			2	9
6歳		7	81	95	20	2	6		1	1	6
7歳		6	86	86	20	2	3			3	11
8歳		8	59	77	5	5	1		1	2	2
9歳		2	48	61	6		5				
10～14歳		8	73	156	10	2	1	1	1	1	3
15～19歳		1	5	34		1				1	
20～29歳		5	28	182	3	1			2	2	1
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	22	209	730	1,654	330	168	40	196	5	69	56
先週比	-1	-17	-11	-166	26	45	1	-52	5	39	-9

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹				
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
～5か月		1								
～1歳		3			1					
1歳	1	6	2				1	4		
2歳		6	1		2			2		
3歳	1	4	4					1		
4歳			2					1		
5歳			1		1					
6歳		1	1					1		
7歳			5							
8歳			7							
9歳		2	5		1					
10～14歳			19					4		
15～19歳		1	5					1		
20～29歳		2	4		3					
30～39歳			7		4					
40～49歳			9		2			1		
50～59歳			2		1					
60～69歳					1					
70～79歳			1							
80歳以上										
合計	2	26	75		16		1	15		
先週比	-3	3	-73	-1	-3		1	8		-1

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2013年23週

定点種別	小児科									
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ
千代田				1.67	0.33	0.33	0.33			0.67
中央区		0.67	2.00	2.00	0.67	2.00	0.33	1.33		1.33
みなと	0.17	1.17	1.67	3.83	2.33	2.83		0.67		
新宿区	0.25	0.13	1.75	3.50	0.50	0.13		0.13		0.25
文京		1.25	1.50	3.25	3.25	3.50		0.50		
台東	0.50		3.75	7.00	0.25			1.25		0.25
墨田区	0.20	0.40	2.20	3.60	2.00	0.20		1.00		0.20
江東区		1.00	2.78	12.44	3.11	1.33		1.22		0.44
品川区		0.38	1.25	7.00	1.13	0.50	0.25	0.75		0.25
目黒区				2.00	0.20			0.40		
大田区	0.08	1.92	3.23	9.00	0.62	0.08	0.77	0.92	0.31	0.46
世田谷	0.06	0.69	3.44	7.19	1.31	0.63	0.06	0.63		0.38
渋谷区		1.00	0.75	5.50	2.00			1.00		
中野区	0.14		1.14	3.71	1.14	0.71	0.14	0.43		0.29
杉並		0.70	2.70	4.90	1.60	0.20		0.20		
池袋		1.20	0.60	4.20	1.40	0.20		0.40		0.80
北区		0.29	0.86	3.71	0.43	1.14	0.29	1.71		0.14
荒川区		1.00	6.00	6.00	3.00	0.75	0.75	1.25		0.25
板橋区	0.10	0.20	0.60	2.90	0.10	0.20		0.80		0.20
練馬区	0.15	1.54	2.77	5.92	1.46	0.23	0.23	0.92		0.15
足立	0.31	1.15	1.38	8.62	1.08	0.38	0.15	0.54		0.23
葛飾区		0.43	1.57	10.00	1.29	0.57		0.86		
江戸川		1.00	4.25	8.08	0.92	0.08	0.25	1.17		0.33
八王子市	0.36	0.82	5.36	13.27	1.27	1.27	0.55	0.64	0.09	0.73
町田市		0.38	8.25	9.50	2.88	0.25		1.13		0.25
西多摩		0.63	2.38	3.25	0.63	0.13				
南多摩		0.44	2.78	8.33	1.56	1.22	0.56	0.56		0.44
多摩立川	0.07	0.21	2.43	3.50	0.86	1.07		0.71		
多摩府中	0.05	0.35	4.00	5.45	1.25	0.50		0.75		0.30
多摩小平		2.53	4.00	5.93	1.13	0.93		0.87		0.13
島しょ										
東京都	0.08	0.80	2.79	6.31	1.26	0.64	0.15	0.75	0.02	0.26

定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科		基幹				
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
千代田				0.25							
中央区											
みなと	0.33			0.11							
新宿区				0.27					2.50		
文京				0.17							
台東				0.14							
墨田区	0.40			0.38							
江東区	0.11		0.22	0.21							
品川区	0.13		0.13								
目黒区	0.20			0.50							
大田区	0.15		0.15			0.50					
世田谷	0.25		0.13	0.12				0.50			
渋谷区				0.14		3.00					
中野区	0.14			0.18		1.00					
杉並	0.30										
池袋											
北区	0.29			0.18		2.00					
荒川区		0.25	0.25	1.00							
板橋区			0.40	0.88							
練馬区	0.38		0.31			2.00					
足立	0.31		0.15	0.15							
葛飾区		0.14		0.33		2.00			8.00		
江戸川	0.50		0.17	0.32							
八王子市	0.27			0.11							
町田市	0.50		0.25	0.31							
西多摩	0.25										
南多摩	0.44			0.14							
多摩立川	0.43		0.07	0.10							
多摩府中	0.10		0.05	0.16							
多摩小平	0.07		0.13	0.04		1.50			1.00		
島しょ											

東京都	0.21	0.01	0.10	0.18		0.42		0.04	0.60		
-----	------	------	------	------	--	------	--	------	------	--	--

定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2013年23週

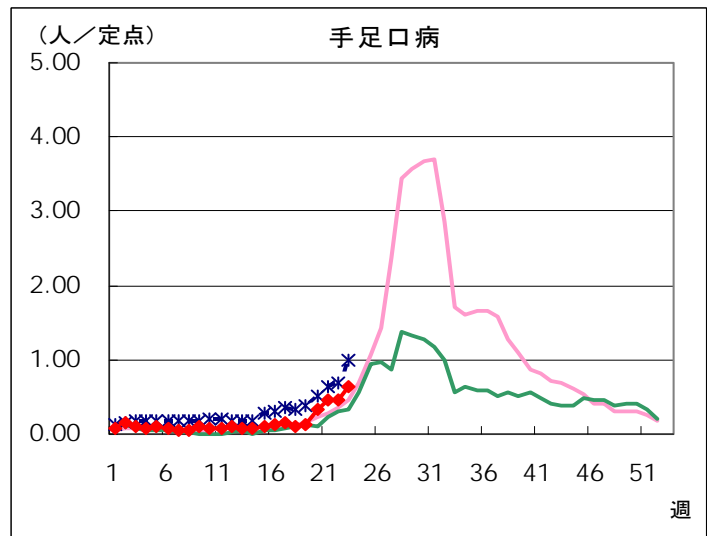
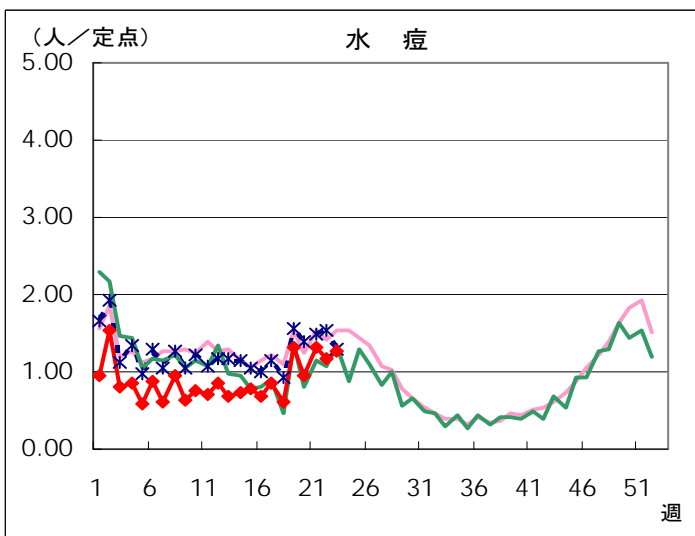
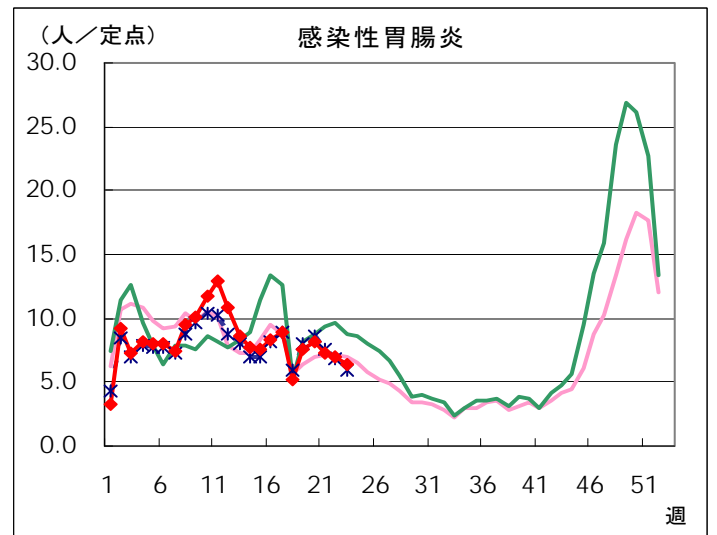
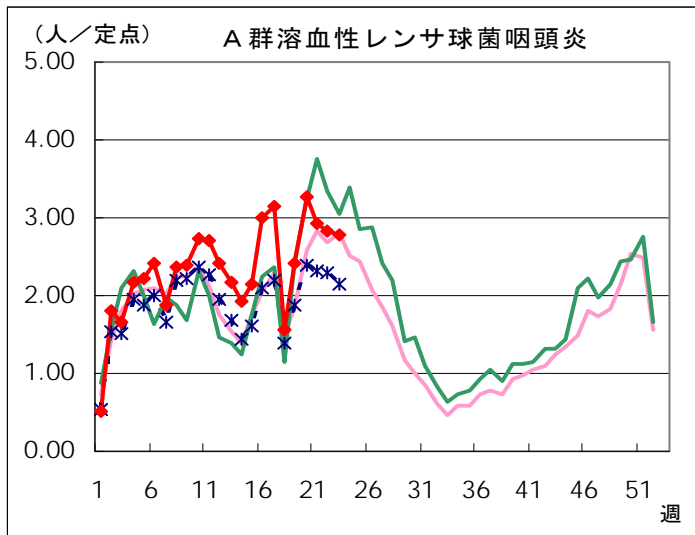
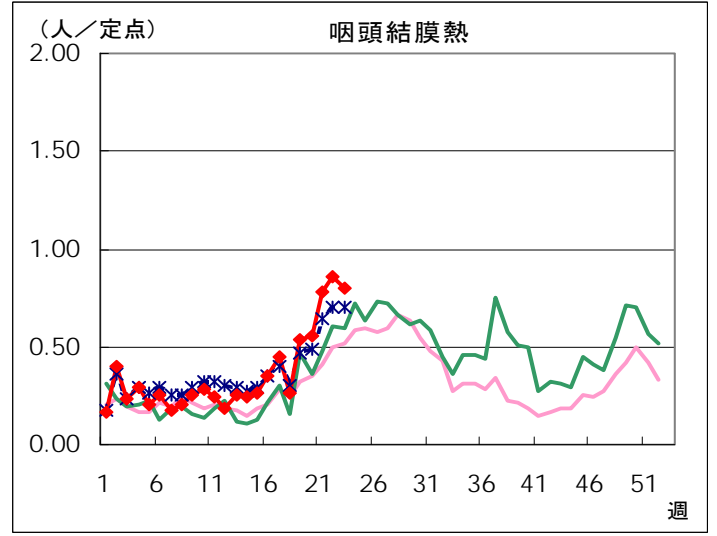
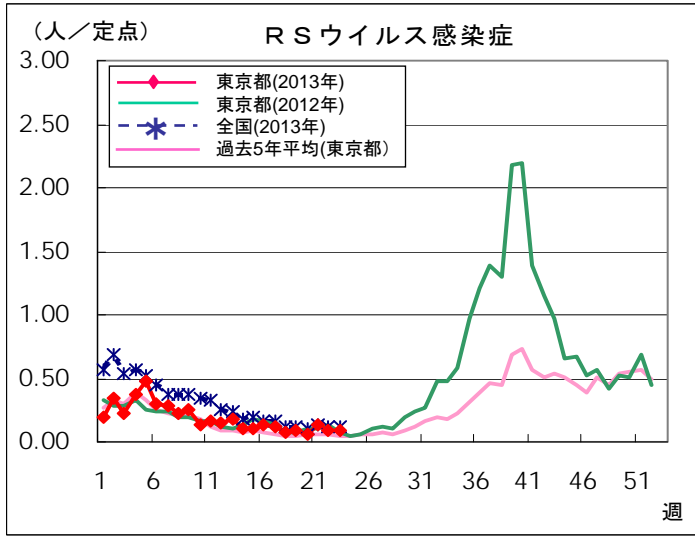
定点種別	小児科									
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ
千代田				5	1	1	1			2
中央区		2	6	6	2	6	1	4		4
みなと	1	7	10	23	14	17		4		
新宿区	2	1	14	28	4	1		1		2
文京		5	6	13	13	14		2		
台東	2		15	28	1			5		1
墨田区	1	2	11	18	10	1		5		1
江東区		9	25	112	28	12		11		4
品川区		3	10	56	9	4	2	6		2
目黒区				10	1			2		
大田区	1	25	42	117	8	1	10	12	4	6
世田谷	1	11	55	115	21	10	1	10		6
渋谷区		4	3	22	8			4		
中野区	1		8	26	8	5	1	3		2
杉並		7	27	49	16	2		2		
池袋		6	3	21	7	1		2		4
北区		2	6	26	3	8	2	12		1
荒川区		4	24	24	12	3	3	5		1
板橋区	1	2	6	29	1	2		8		2
練馬区	2	20	36	77	19	3	3	12		2
足立	4	15	18	112	14	5	2	7		3
葛飾区		3	11	70	9	4		6		
江戸川		12	51	97	11	1	3	14		4
八王子市	4	9	59	146	14	14	6	7	1	8
町田市		3	66	76	23	2		9		2
西多摩		5	19	26	5	1				
南多摩		4	25	75	14	11	5	5		4
多摩立川	1	3	34	49	12	15		10		
多摩府中	1	7	80	109	25	10		15		6
多摩小平		38	60	89	17	14		13		2
島しょ										
東京都合計	22	209	730	1,654	330	168	40	196	5	69

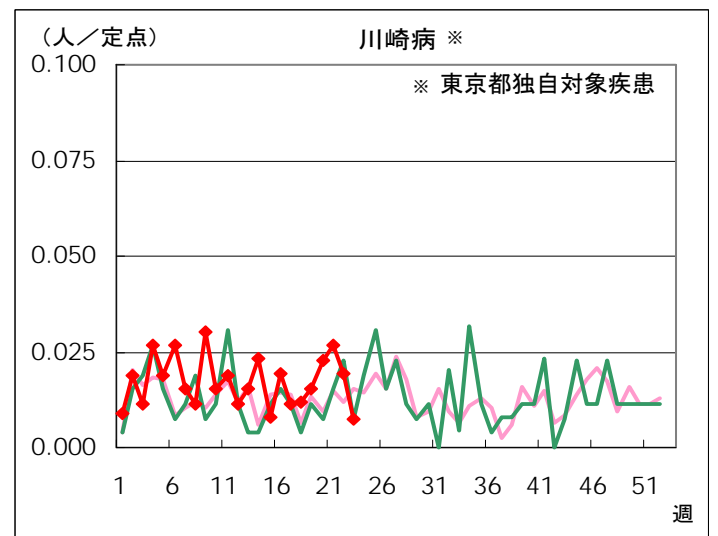
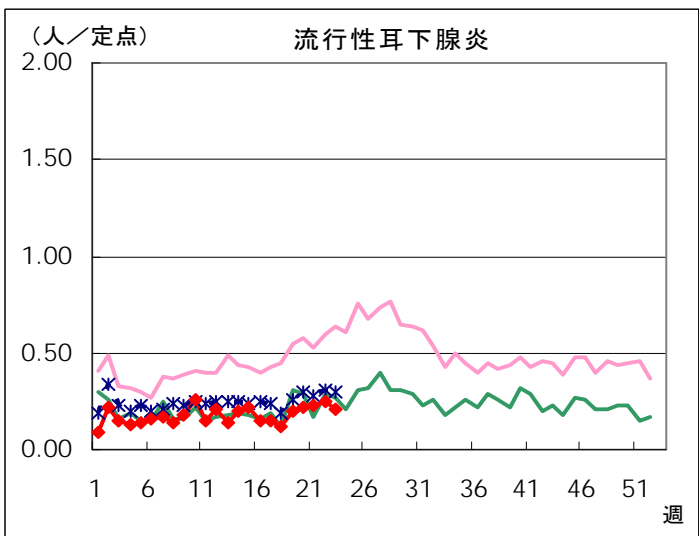
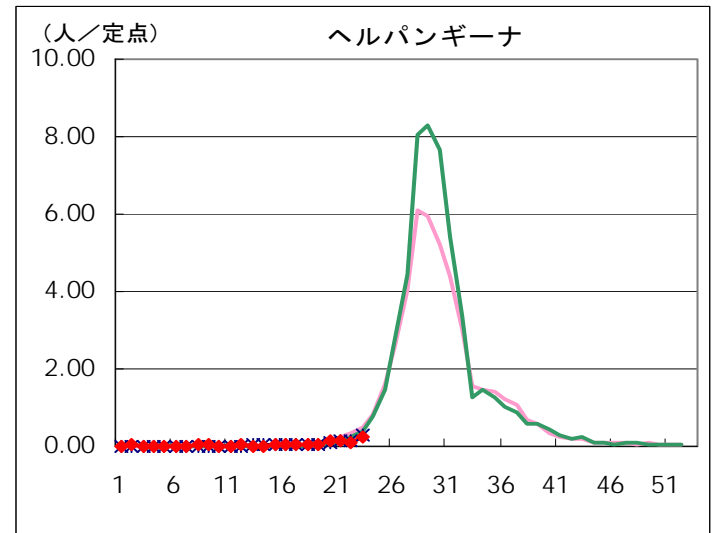
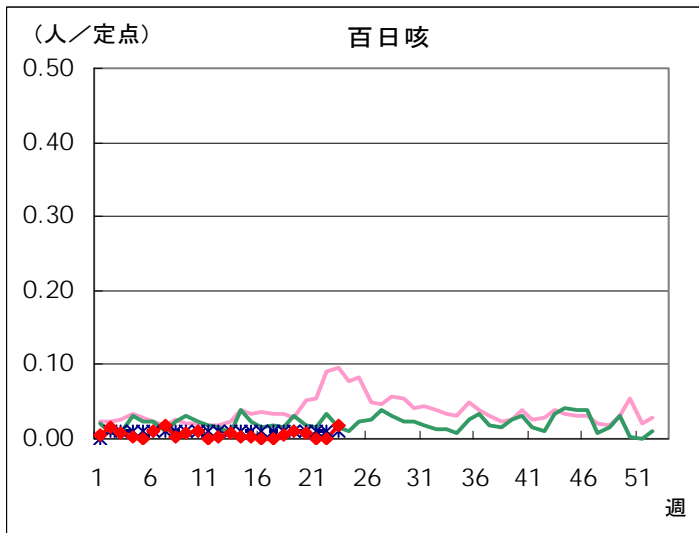
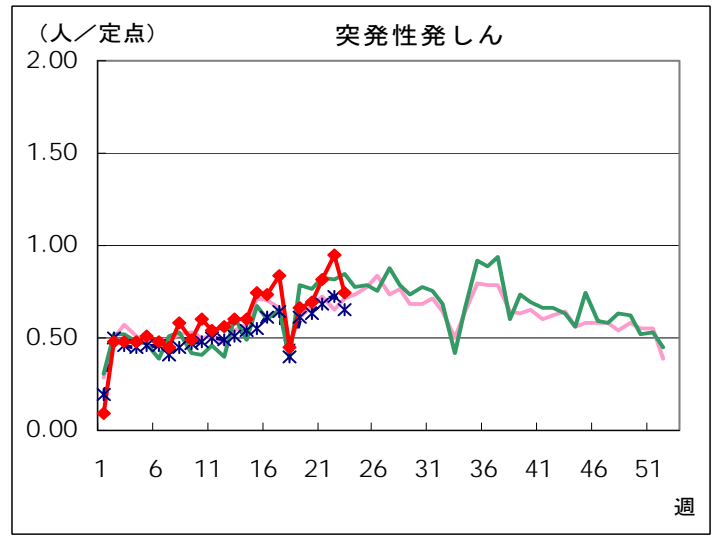
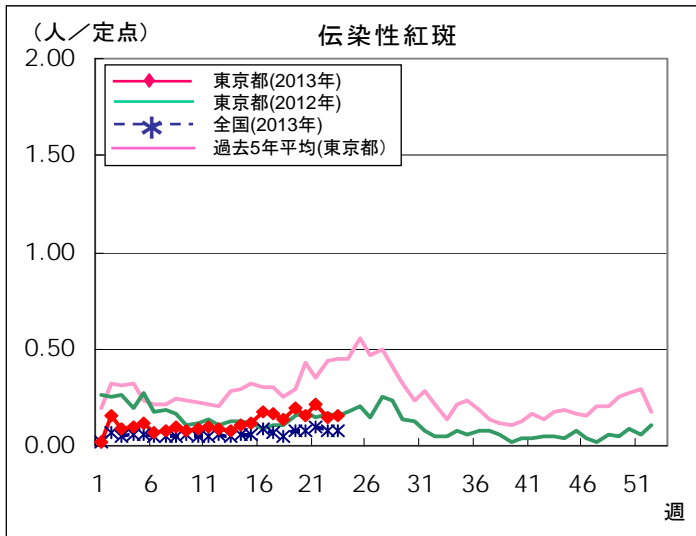
定点種別	小児科			インフルエンザ	眼科		基幹				
	流行性 耳下腺炎	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	インフル エンザ 入院
千代田				1							
中央区											
みなと	2			1							
新宿区				3					5		
文京				1							
台東				1							
墨田区	2			3							
江東区	1		2	3							
品川区	1		1								
目黒区	1			4							
大田区	2		2			1					
世田谷	4		2	3				1			
渋谷区				1		3					
中野区	1			2		1					
杉並	3										
池袋											
北区	2			2		2					
荒川区		1	1	7							
板橋区			4	14							
練馬区	5		4			4					
足立	4		2	3							
葛飾区		1		4		2			8		
江戸川	6		2	6							
八王子市	3			2							
町田市	4		2	4							
西多摩	2										
南多摩	4			2							
多摩立川	6		1	2							
多摩府中	2		1	5							
多摩小平	1		2	1		3			2		
島しょ											

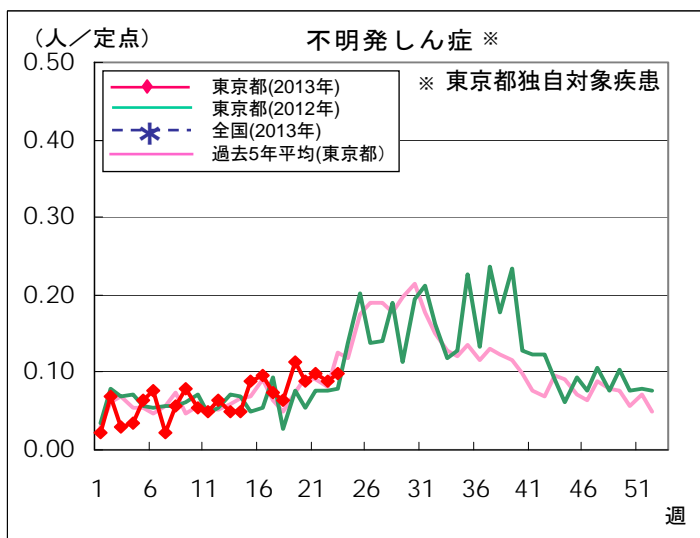
東京都合計	56	2	26	75		16		1	15		
-------	----	---	----	----	--	----	--	---	----	--	--

定点把握対象疾患 週別報告数(2013年23週 現在)

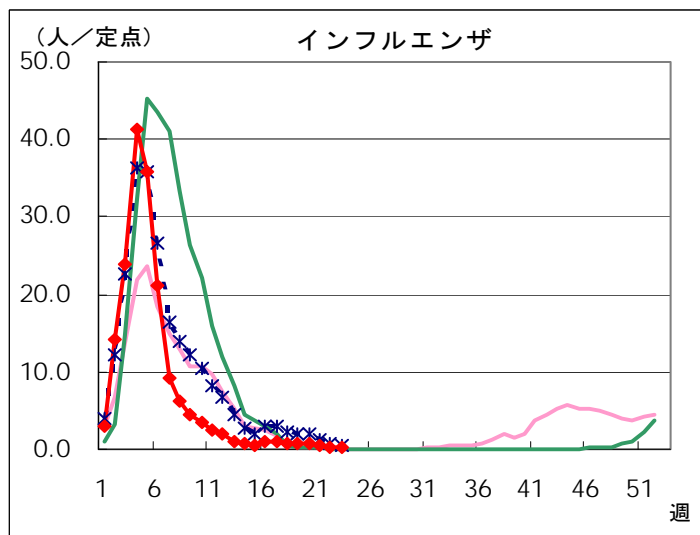
◆ 小児科定点



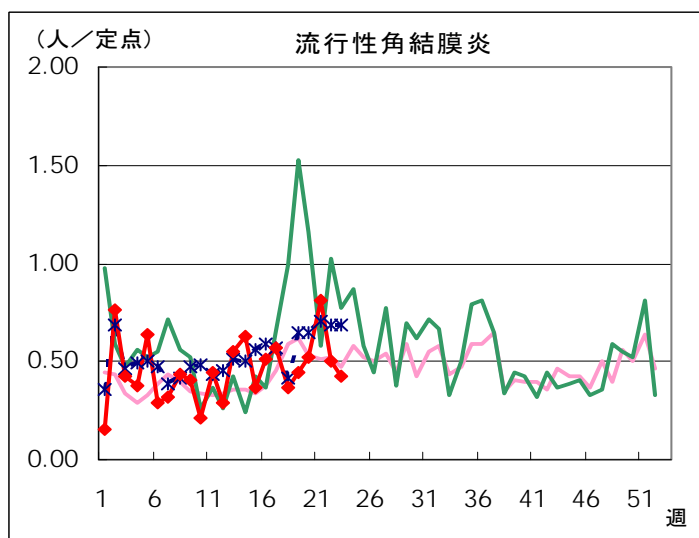
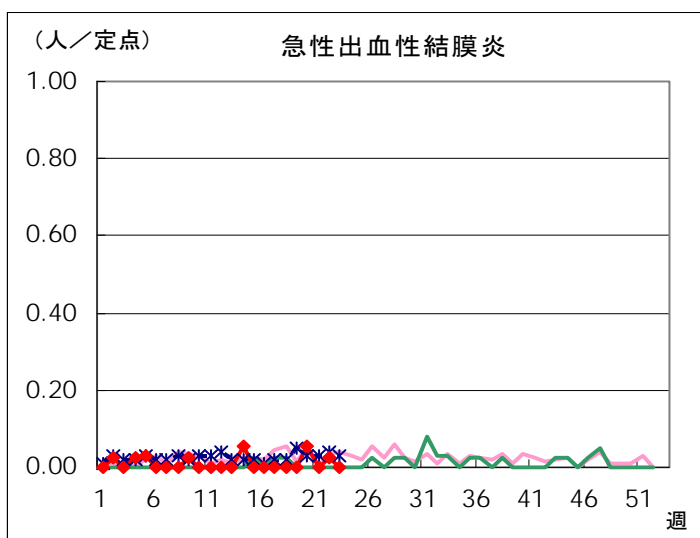




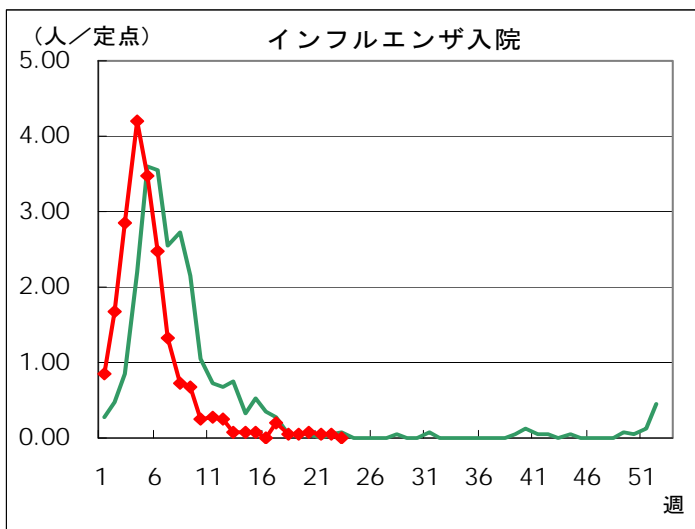
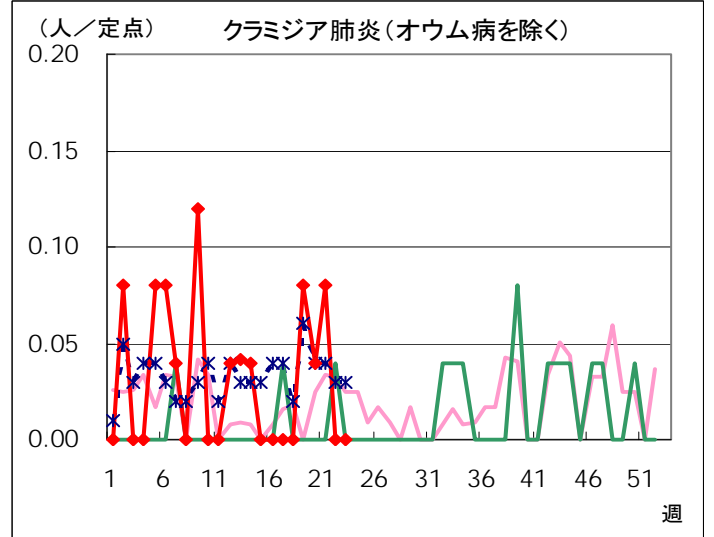
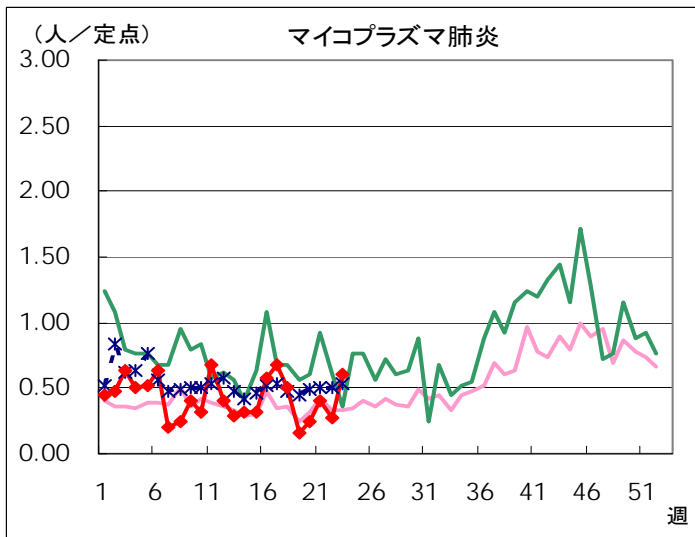
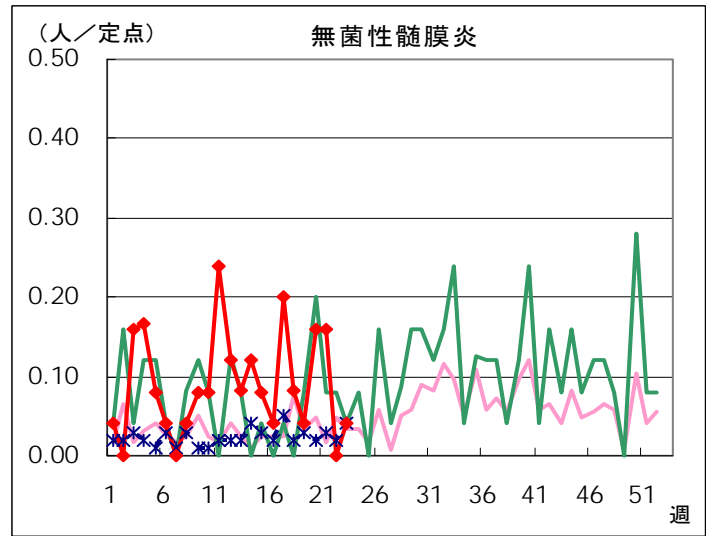
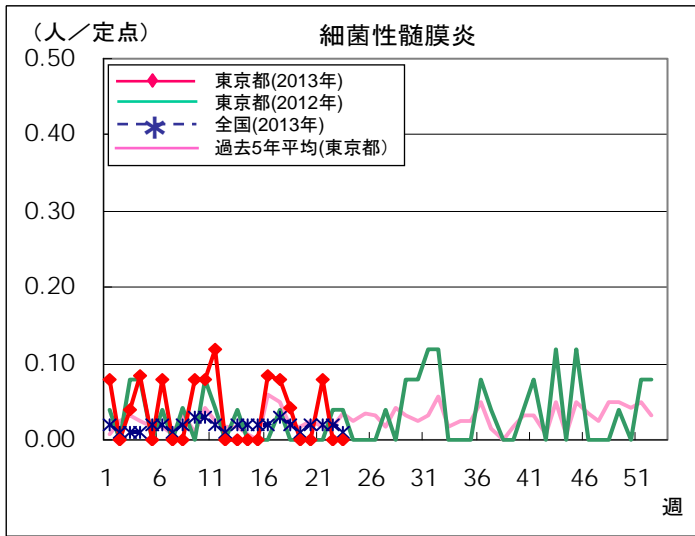
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関からのインフルエンザに関するコメント

各定点医療機関からいただきました、インフルエンザ迅速診断結果とコメントを下表にまとめました。

管轄保健所名	インフルエンザ 迅速診断結果			医療* 機関数	備 考
	A型	B型	記載なし		
みなと		1		1	
江東区		3		1	
目黒区	3	1		1	
世田谷		1		1	
渋谷区		1		1	
中野区	1	1		2	
荒川区	2	5		2	
葛飾区		4		2	
八王子市		2		2	
町田市	1			1	
南多摩			2	1	・小学校にて インフルエンザB型発生中。
多摩立川		1		1	
総計	7	20	2	16	

* 迅速診断結果をご報告いただいた医療機関数

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

検体採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体	検査法
5/29	急性気管支炎	4M	鼻汁	パラインフルエンザウイルス 3型	遺伝子
5/29	ウイルス感染症	8M	咽頭拭い液	ライノウイルス	
5/21	RSウイルス性肺炎	9M	咽頭拭い液	RSウイルス	
3/27	急性咽頭炎	1	咽頭拭い液	アデノウイルス パラインフルエンザウイルス 3型	
5/31	急性気管支炎	1	記載なし	パラインフルエンザウイルス 3型	
5/25	下痢症	1	糞便	アデノウイルス	
5/24	不明発しん症	1	直腸拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型	
5/28	不明発しん症	1	鼻腔拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
3/27	水痘	2	咽頭拭い液	水痘帯状疱疹ウイルス	
5/23	不明発しん症	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型	
5/28	急性咽頭炎	3	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス 3型	
5/22	肺炎	3	咽頭拭い液	パラインフルエンザウイルス 3型	
5/22	急性咽頭扁桃炎	4	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
5/31	水痘	7	咽頭拭い液	水痘帯状疱疹ウイルス	
5/25	不明熱 インフルエンザ疑い	7	鼻汁	パラインフルエンザウイルス 3型	
5/27	気管支炎	12	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス	
5/29	水痘	36	咽頭拭い液	水痘帯状疱疹ウイルス	
			皮膚病巣擦過物		

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

検出件数	AH1pdm09*型	AH1型	AH3型	B型
22週				3
2012-2013年 シーズン累計**	2		241	62

* 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とします。

** 2012-2013シーズンの開始は第36週(2012年9月3日～)

病原体検査情報【検出病原体別・週別】

検出病原体		2013年							
		15週	16週	17週	18週	19週	20週	21週	22週
ウイルス	アデノウイルス	6	4	2		1	7	2	2
	ライノウイルス	6	7	3	3	5	4	4	2
	ポリオウイルス								
	コクサッキーウイルスA群							2	
	コクサッキーウイルスB群							2	
	エコーウイルス								
	エンテロウイルス71								
	その他のエンテロウイルス	2	1	1	1	2			
	単純ヘルペスウイルス	1				1			
	水痘・帯状疱疹ウイルス	2		3	1				4
	ヘルペスウイルス6/7	5	1	6	2	3	3	4	2
	EBウイルス	3		1		1		3	
	サイトメガロウイルス			4					
	ムンプスウイルス	1		1	1				
	麻疹ウイルス								
	風疹ウイルス	2	3			1		3	
	パルボウイルスB19								
	RSウイルス								1
	ノロウイルス	1				1	1	1	
	ロタウイルス	2	2	1					
	インフルエンザウイルスAH1								
	インフルエンザウイルスAH3	5		3					
	インフルエンザウイルスB	3	3	5	3	6	2	4	3
インフルエンザウイルスAH1pdm09									
デングウイルス(抗体を含む)									
その他のウイルス	4	6	2	2	5	5	3	7	
細菌	カンピロバクター					1			
	サルモネラ								
	腸管出血性大腸菌								
	その他の腸管系病原菌								
	溶血性レンサ球菌								
	百日咳								
	マイコプラズマ								
	その他の細菌								
その他の病原体									

病原体検査情報【検出病原体別・臨床診断名別】

2013年15週～2013年22週

臨床診断名 検出病原体		インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数		38	48	52	36	25	4	2	8	1	8	3	34	6	14		7	77
ウイルス	アデノウイルス	2	7	2	3		1		4				2	1				2
	ライノウイルス		6	8		1					3		3		1			12
	ポリオウイルス																	
	コクサッキーウイルスA群										2							
	コクサッキーウイルスB群					1							1					
	エコーウイルス																	
	エンテロウイルス71																	
	その他のエンテロウイルス	2				2					1		2					
	単純ヘルペスウイルス									1				1				
	水痘・帯状疱疹しんウイルス					1									9			
	ヘルペスウイルス6/7										2		10		1			13
	EBウイルス		1	1									1	3			1	1
	サイトメガロウイルス		1			1												2
	ムンプスウイルス					1								2				
	麻疹ウイルス																	
	風しんウイルス										2		2				4	1
	パルボウイルスB19																	
	RSウイルス			1														
	ノロウイルス				4													
	ロタウイルス				3													
インフルエンザウイルスAH1																		
インフルエンザウイルスAH3	7	1																
インフルエンザウイルスB	26		1															
インフルエンザウイルスAH1pdm09																		
デングウイルス (抗体を含む)																		
その他のウイルス	1	8	17	5			1											
細菌	カンピロバクター				1													
	サルモネラ																	
	腸管出血性大腸菌																	
	その他の腸管系病原菌																	
	溶血性レンサ球菌																	
	百日咳																	
	マイコプラズマ																	
	その他の細菌																	
その他の病原体																		

<感染症豆知識>

最近の結核

世界において人口の3分の1にあたる20億人以上の人々が結核に感染しており、2010年には新たに880万人(HIV合併110万人)が結核を発症し、145万人(HIV合併35万人)が結核死した。HIVとの重複感染、多剤耐性結核が大きな課題である。

日本において2011年の新登録結核患者数は22,681人で、前年より580人(2.5%)減少した。70歳以上の患者数は12,204人で、全結核患者の53.8%(前年51.2%)となり、結核患者の高齢化が進んでいる。全結核患者の人口10万対罹患率は17.7で、経年的減少は細々と続いている。喀痰塗抹陽性肺結核患者罹患率は6.8(前年7.0)であった。都道府県別全結核罹患率は、大阪府(28.0)が最高で、東京(22.9)は4位であった。最低は岩手県(8.9)や宮城県(9.8)。独居高齢者においては自宅内で倒れている所を福祉関係者や管理人などに発見されるケースもある。高齢者結核は診断・治療が難しく、死亡率(26%)も高いが、生存例でのADLを保つために治療早期からリハビリや栄養補給が心がけられている。

都市部、特に東京では20~40歳代の若年者結核も重要である。若年者は活動性が高く、従って不特定多数の人々と接触する機会が多いことが原因の1つと考えられる。

外国人結核は952名(2010年)で4.2%を占めている。15~39歳が多く、国籍は中国、フィリピン、韓国、インドネシア、ネパールなどである。東京は211名で、新登録患者数の6.9%であった。外国人においては多剤耐性率が高く、また治療中断脱落率および転出率が高いために、なるべく日本国内で治療完了となるように支援することが重要となる。

標準治療が行なわれるが、高齢者では内服不能例も多い。新規抗結核剤としてリネゾリド、デラマニド(日本で開発)などが期待されている。

(文責 医療法人財団保養会 竹丘病院 長山直弘)